



23
〜
30日 年間限度の7倍超

調査を始めてから初めて、新たに岩手県で放射性ヨウ素が0・36ベクレル毎検出された。

大気中の環境放射線

調査したところ、1時間当たり的大気中の放射線量は0・4〜55・6ベクレルだった。

また、文科省はモニ

量を測定するため都道府県に設置するモニタリングポスト（自動観測局）は、31日午前9時時点で7都県で通常値を上回った。一方、原発から20〜60キロ離れた福島県内29カ所では31日午前6時〜午後3時にモニタリングカーでタリングカーによる調査で30日、福島市で9日夕までの24時間で放射線量の増減がなかったと発表した。が、実際には測定機の電池切れた線量測定ができなかったことを明らかにした。

【鈴木梢】

【鈴木梢】

政府 民主党は31日、東日本大震災の復旧・復興に取り組む基本方針を示す「東日本大震災復旧復興対策基本法案」の素案をまとめた。災害に強い「復旧復興まちづくり」や被災者の生活再建支援に必要となる巨額の財源を賄うため「復旧復興特別税」創設と「震災国再興（再創造）」を目指す「発」の検討を明記。

特別税の具体策としては法人税、消費税、所得税などの増税を検討する案を盛り込んだ。

素案は民主党の特別立法チーム（中川正春座長）が政府と調整し作成した。単なるインフラ整備ではなく「21世紀における我が国の復興（再創造）」を

復旧復興税創設へ

海水の

東京電力は31日、福島第1原発の南放水口（1～4号機用）から

都道府県名	30日	31日	過去の通常値
北海道	0.027	0.028	0.02 ~0.105
青森	0.026	0.027	0.017 ~0.102
岩手	0.028	0.027	0.014 ~0.084
宮城	0.097	0.091	0.0176 ~0.0513
★秋田	0.035	0.035	0.022 ~0.086
★山形	0.067	0.065	0.025 ~0.082
★福島	—	—	0.037 ~0.071
茨城	0.208	0.197	0.036 ~0.056
★栃木	0.095	0.094	0.030 ~0.067
★群馬	0.055	0.056	0.017 ~0.045
★埼玉	0.083	0.081	0.031 ~0.060
★千葉	0.073	0.073	0.022 ~0.044
★東京	0.103	0.102	0.028 ~0.079
★神奈	0.069	0.068	0.035 ~0.069
新潟	0.046	0.068	0.031 ~0.153
富山	0.049	0.048	0.029 ~0.147
石川	0.047	0.048	0.0291 ~0.1275
福山	0.045	0.046	0.032 ~0.097
山梨	0.044	0.045	0.040 ~0.064
長野	0.045	0.047	0.0299 ~0.0974
岐阜	0.060	0.062	0.057 ~0.110
愛知	0.042	0.041	0.0281 ~0.0765
三重	0.040	0.040	0.035 ~0.074
滋賀	0.046	0.046	0.0416 ~0.0789
京都	0.033	0.033	0.031 ~0.061
大阪	0.038	0.039	0.033 ~0.087
兵庫	0.042	0.043	0.042 ~0.061
奈良	0.037	0.037	0.035 ~0.076
和歌山	0.047	0.048	0.046 ~0.08
鳥取	0.032	0.033	0.031 ~0.056
島根	0.063	0.063	0.036 ~0.11
岡山	0.036	0.038	0.033 ~0.079
広島	0.048	0.051	0.043 ~0.104
山口	0.046	0.050	0.035 ~0.069
徳島	0.091	0.096	0.084 ~0.128
香川	0.037	0.038	0.037 ~0.067
愛媛	0.054	0.056	0.051 ~0.077
高松	0.047	0.048	0.045 ~0.074
福岡	0.024	0.027	0.023 ~0.076
佐賀	0.036	0.037	0.034 ~0.079
熊本	0.040	0.042	0.037 ~0.086
大分	0.029	0.029	0.027 ~0.069
宮崎	0.027	0.029	0.021 ~0.067
鹿児島	0.049	0.051	0.048 ~0.085
沖縄	0.026	0.027	0.0243 ~0.0664
※	0.034	0.035	0.0306 ~0.0943
※	0.021	0.021	0.0133 ~0.0575

※文部科学省発表。30日は午後4～5時、31日は午前8～9時観測。単位は Becquerel/毎時。★は最新データで通常値を超えた自治体。福島は測定施設が避難指示圏内で立ち入らず。

◆水道水の環境放射線量水準調査結果◆

都県名	放射性ヨウ素		放射性セシウム	
	29日	30日	29日	30日
岩手	不検出	0.36	不検出	不検出
秋田	0.57	0.35	不検出	不検出
茨城	11	17	2.5	不検出
栃木	9.9	8.1	5.4	3.4
群馬	4.6	4.7	0.57	0.72
埼玉	5.3	4.3	0.35	0.46
千葉	3.0	2.0	0.26	0.45
東京	5.6	5.1	0.51	0.90
神奈川	9.9	8.6	不検出	不検出
新潟	3.4	2.3	不検出	不検出

※文部科学省発表。単位はBq/kg^{キログラム}。
 山形は機器調整中で計測できず。その他の道府県はすべて不検出。宮城、福島県は県が独自に公表。

福島県産の野菜
25品規制値超え

厚生労働省は30日、福島県産の野菜43品を対象にした緊急時モニタリング検査で、25品から食品衛生法の暫定規制値を超える放射性物質が検出されたと発表した。最大値を示し

食品の暫定規制値

放射性物質の種類	厚生労働省が設けている規制値 (1kgあたりのベクレル値)	
	飲料水	300
	牛乳・乳製品	100 (乳児)
	野菜類(根菜、イモ類を除く)	2000
放射性セシウム (半減期 30年)	飲料水	200
	牛乳・乳製品	
	野菜類	500
	穀類	
	肉、卵、魚、その他	

福島第1原子力発電所周辺の累積線量結果 ※30日現在、単位はマイクロシーベルト

